



■活動日：2017年1月28日（土） 10：00～15：00

■参加者：チーム神於山 正会員 9名

■活動内容

- ・前回の活動日に、今後の竹林管理について、全てのエリアを対象に進めるのは難しいことから、竹林内にイベント用のエリアを設け、先ずその中を整備することにしました。
- ・今回はその第一回として、イベント用と決めた作業道より上のゾーンのエリアの周辺に、イノシシ除けの柵を付ける作業に取り組みました。
- ・当初は、遊歩道沿いと同様、柱と決めた生きた竹の上下に、その柱を挟む形で横に2本、竹の棧を渡し、その棧の隙間に、伐った竹の枝を縦に差し込む考えでしたが、枝ではイノシシの侵入は止められないことから、竹の棧は、上下一本ずつにし、それに割った竹を縦にし、棕櫚縄で縛ることにして作業を開始。柵の基礎になる柱と棧の取り付けは、ほぼ完了しました。
- ・今回も、ワイワイガヤガヤ楽しい活動日になりました。9名のメンバーの皆さん、お疲れ様でした。
- ・次回は、割った竹を棧に取り付ける作業に取り組みますが、相当量の竹を伐り、割り竹を作る必要がありますから人手勝負となります。別途ご案内しますので、奮ってご参加ください。

■午前の作業風景

先ず下の棧の取り付けを開始。柱にする竹の無いところは香遠さん調達の杭を使用。



先ず下の棧の取り付けからスタート。



竹の無いところは杭を柱に。



枯竹も、杭の支えに活用して。



午前の活動を終えて一枚。柵作りの要領が見えたので、笑顔です。

・スタートした時は、遊歩道と同じにするか、違う形にするか、イメージがまちまちでしたが、横に渡す棧は上下一本ずつにして、割り竹を縦に止めると決まると、作業は急ピッチで進みました。

・イノシシは、低い柵なら飛び越えるという話なので、上下の棧の間隔は、柵の高さを120～150cmすることを目安に取りつけています。

・棧に使う竹を伐りだしながらの作業ですから、思いのほか時間がかかりましたが、午後の追い上げが効いて、柵の基礎になる柱と棧の取り付けは、ほぼ完了しました。

## ■食後の巨頭会議

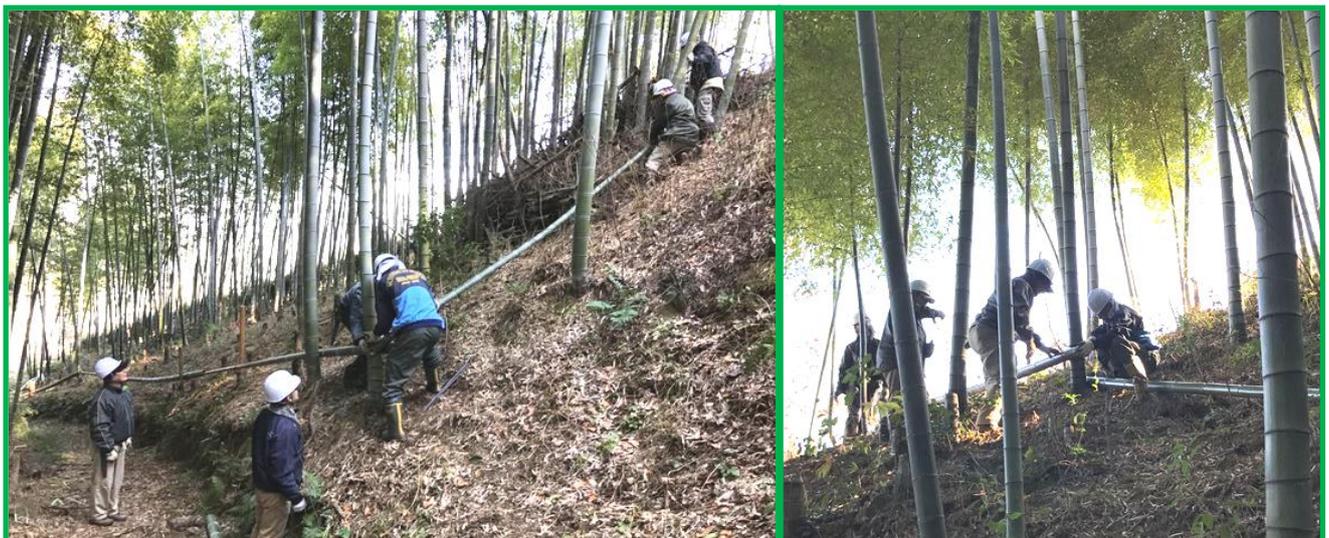
割り竹の止め方で巨頭会議。イノシシの侵入に耐える強さがテーマです。



- 棧を上中下の3本渡して割り竹を編み込むやり方は、基地の竹フェンスで強さも実証済みですが、半端ではない数の割り竹が必要になるため、難しいですが、中途半端な付け方ではイノシシに破られてしまいます。
- 結論は、割り竹をクロスし、上は横棧に棕櫚縄で縛り、下は地面に打ち込む事で強度を稼ぐという方法に落ち着きました。

## ■午後の作業風景

午後の続きの棧付け完了。イベントエリアは、底辺が長い変型の台形になりました。



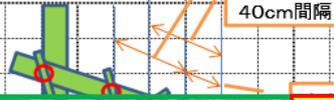
午前の続きの棧の取り付け。エリアの全容が見えてきました。上辺は、遊歩道側からスタートし林内へ。



杭打ちは慎重に・・・。



上下2本の棧の取り付け完了!! ホット一息です。



40cm間隔  
上側をネジ釘で固定したら、作業は早いと思います。  
2人1組で、下穴を空けるドリルとドライバーで止めて行けば早いでしょう。

遊歩道沿いの既設の竹柵。隙間だらけなので補強が必要です。



午前終了時点のイベントエリアのパノラマ写真。ゆがんで見えますが、実際は緩やかなカーブです。



遊歩道沿いの竹柵。隙間があり、イノシシ対策の補強が必要です。



金井さん作。竹林への入口ドア。

■ 割り竹の留め方 (案) 金井さんのアイディア。力作です。

